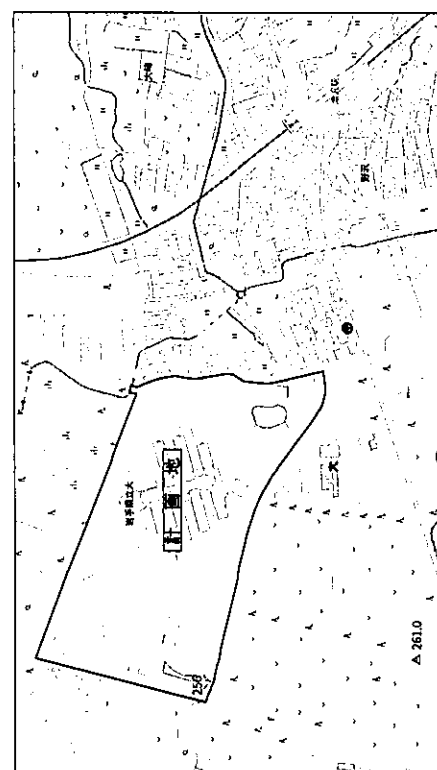
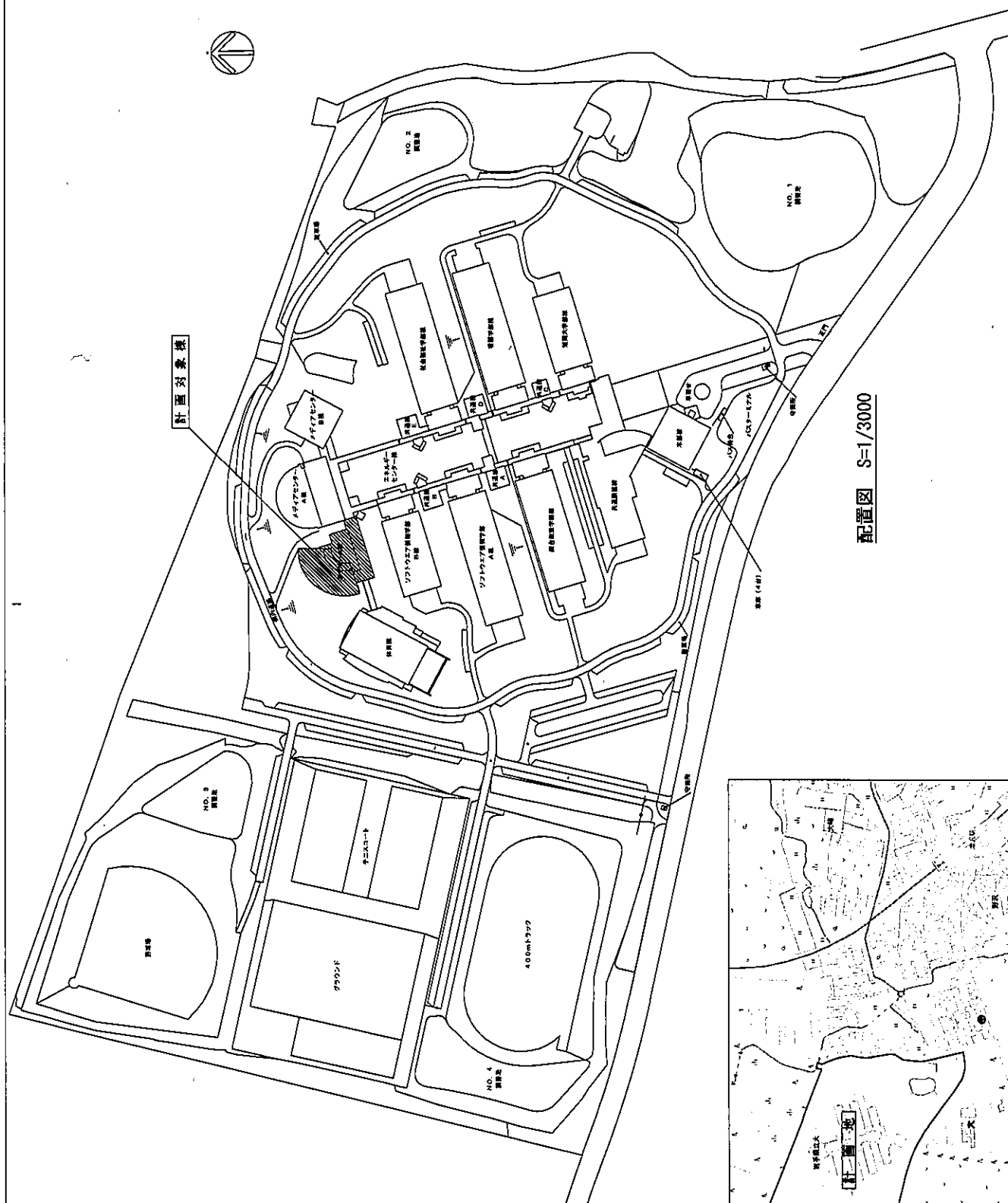


公立大学法人岩手県立大学 学生ホール棟厨房改修工事

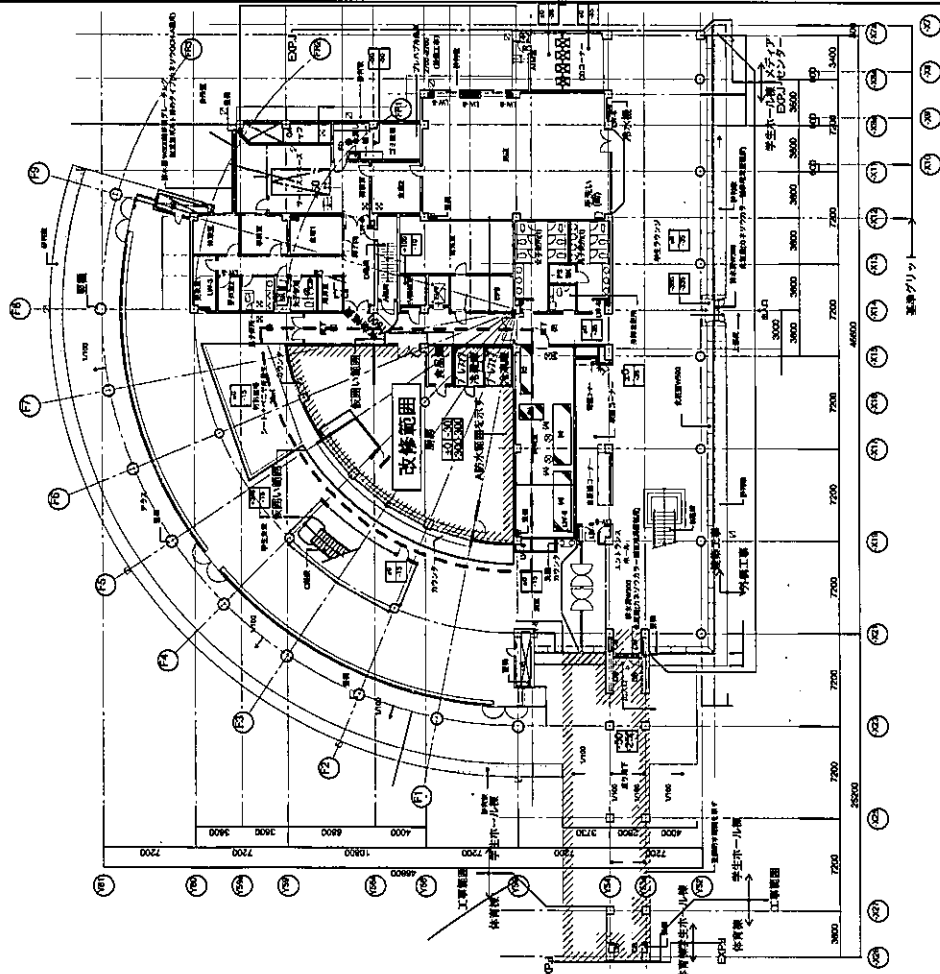
番 号	図面名称	番 号	図面名称	番 号	図面名称
1	表紙	M-01	機械設備 特記仕様書	E-01	電気設備工事 特記仕様書(厨房改修)
A-01	特記仕様書1	M-02	2階3階 給水給湯排水配管平面図(撤去)	E-02	照明器具図
A-02	特記仕様書2	M-03	2階 給水給湯配管平面図(改修)	E-03	厨房2階 電灯
A-03	案内図・配置図	M-04	2階 排水配管平面図(改修)	E-04	厨房2階 コンセント
A-04	仕上表	M-05	3階 排水配管平面図(改修)	E-05	厨房分電盤リスト 改修前
A-05	学生ホール棟 2-3階平面図(改修前)	M-06	2階 空調換気設備ダクト平面図(改修)	E-06	厨房分電盤リスト 改修後
A-06	学生ホール棟 2-3階平面図(改修後)	M-07	2階 空調換気設備ハグーシ・I7コン平面図(改修)		
A-07	学生ホール棟 断面図(改修後)	M-08	3階 空調換気設備ハグーシ・I7コン平面図(改修)		
A-08	厨房 2階平面図(改修前)	M-09	2階 フード内消火設備平面図(改修)		
A-09	厨房 2階平面図(改修後)	M-10	3階 フード内消火設備平面図(改修)		
A-10	建具表	M-11	2階 ガス設備平面図(改修)		
A-11	厨房 2階天井図(改修前)	M-12	2階厨房機器レイアウト図(改修前)	番 号	別冊目録
A-12	厨房 2階天井図(改修後)	M-13	2階厨房機器リスト(改修前)	1	公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版
A-13	部分詳細図(1)	M-14	2階厨房機器レイアウト図(改修後)	2	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版
A-14	部分詳細図(2)	M-15	2階厨房機器リスト(改修後)	3	公共建築設備工事標準図(建築工事編) 令和7年版
A-15	部分詳細図(3)			4	公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
A-16	部分詳細図(4) シャッター詳細			5	公共建築改修工事標準図(機械設備工事編) 令和7年版
A-17	部分詳細図(5) シャッター詳細			6	公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和7年版
				7	公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
				8	公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
				9	公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和7年版



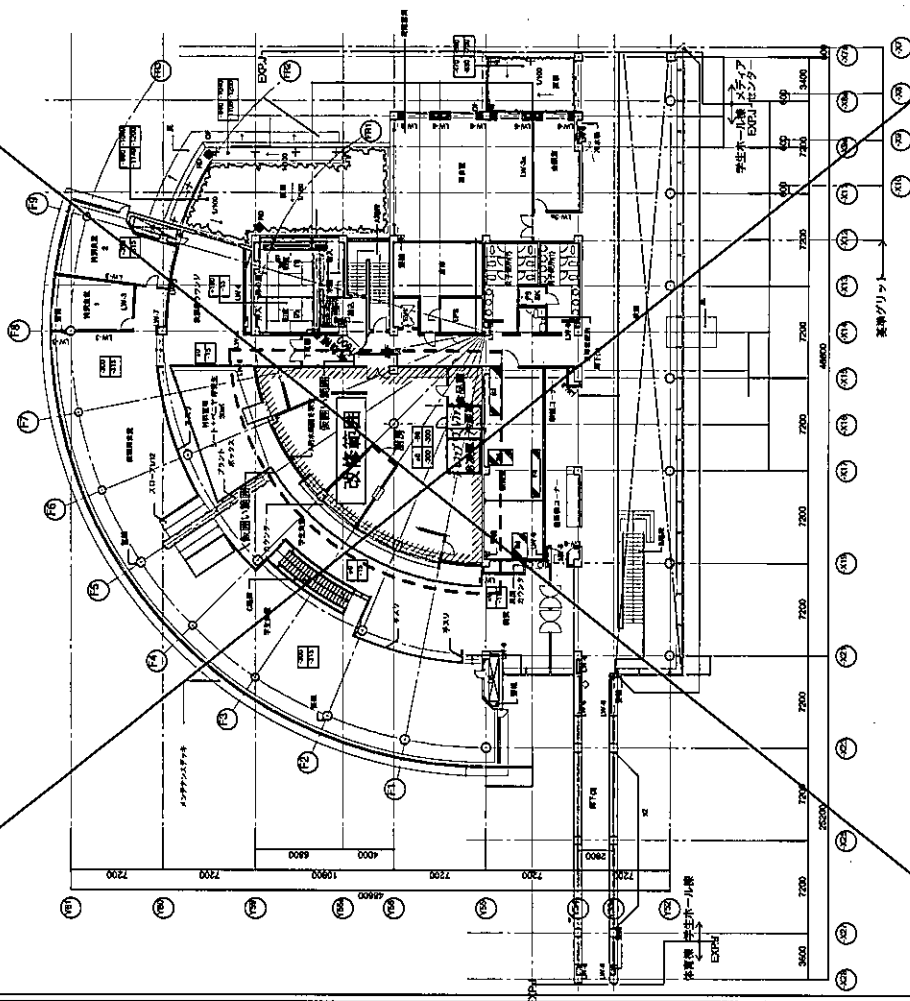
案内図 S=N/S

配置図 S=1/3000

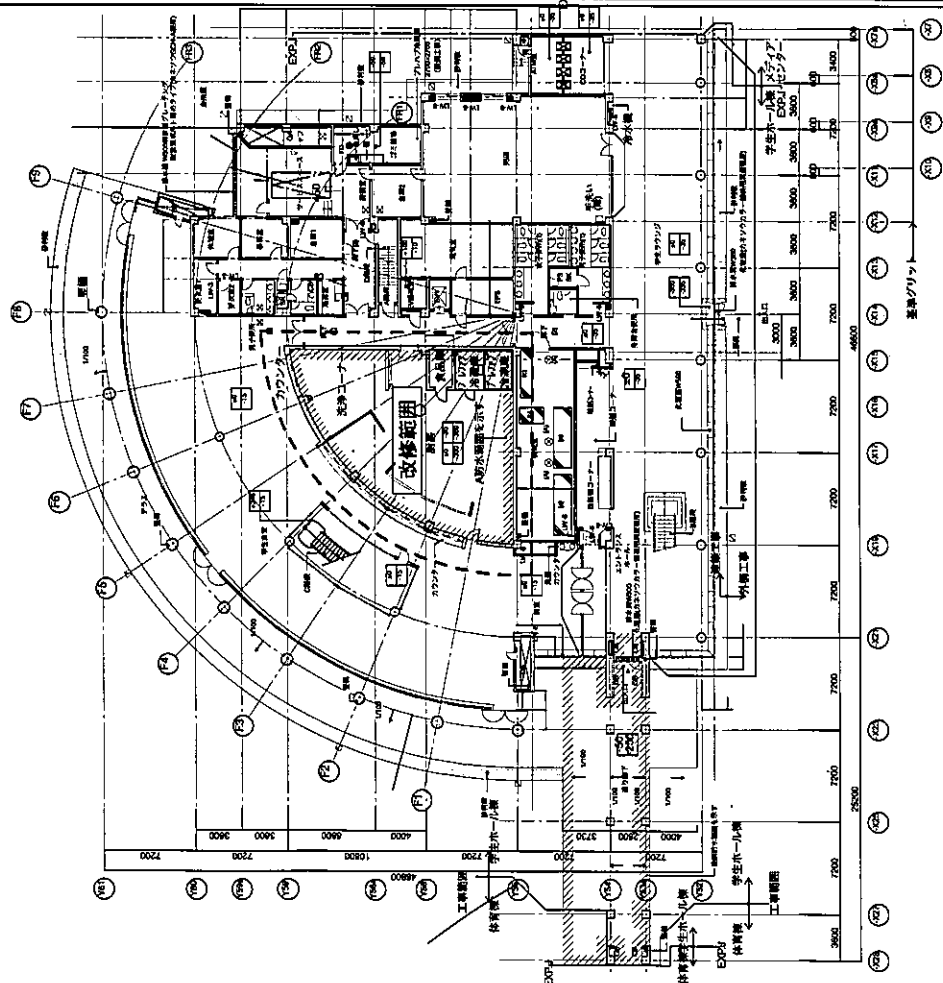
公立大学法人岩手県立大学 学生ホール棟耐震改修工事	1/3000	案内図・配置図	A-03
公立大学法人 岩手県立大学			



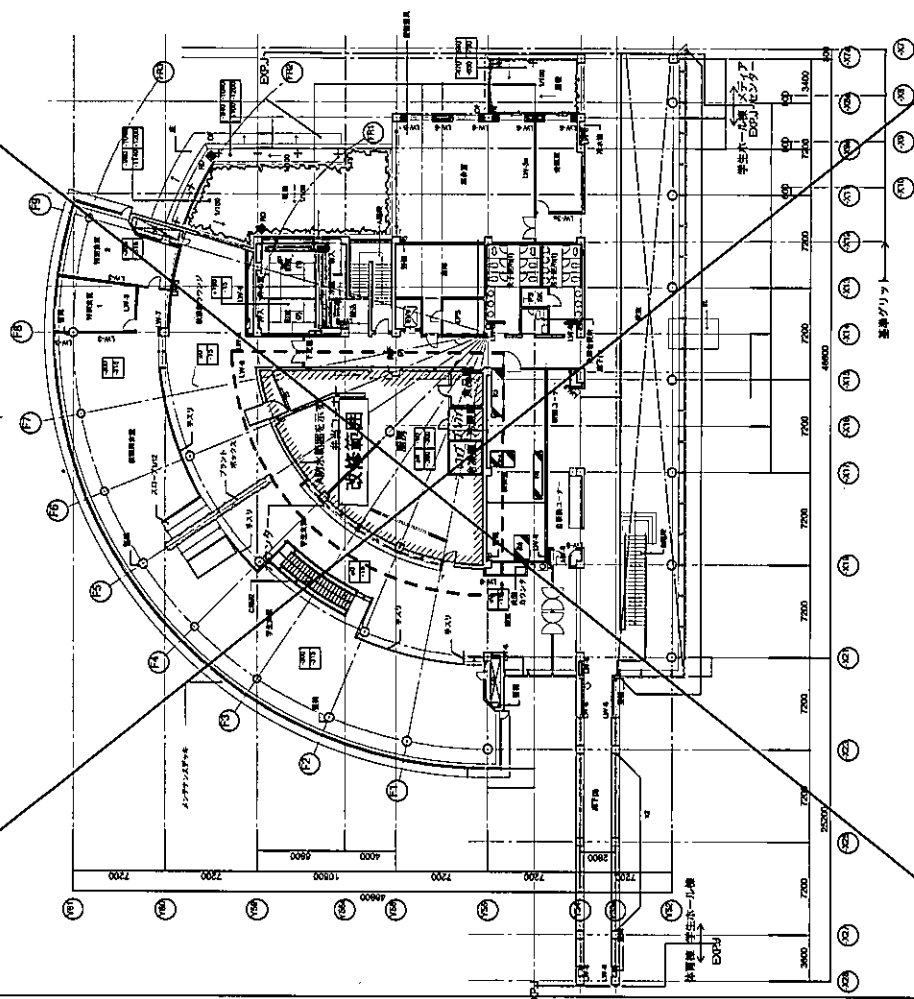
2階平面図



3階平面図

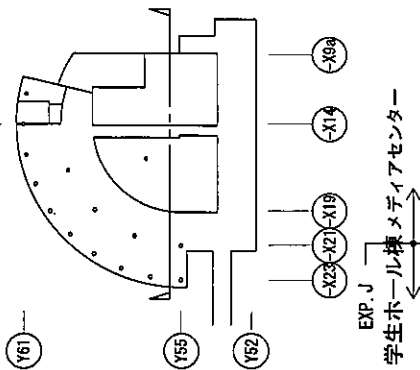


2階平面図



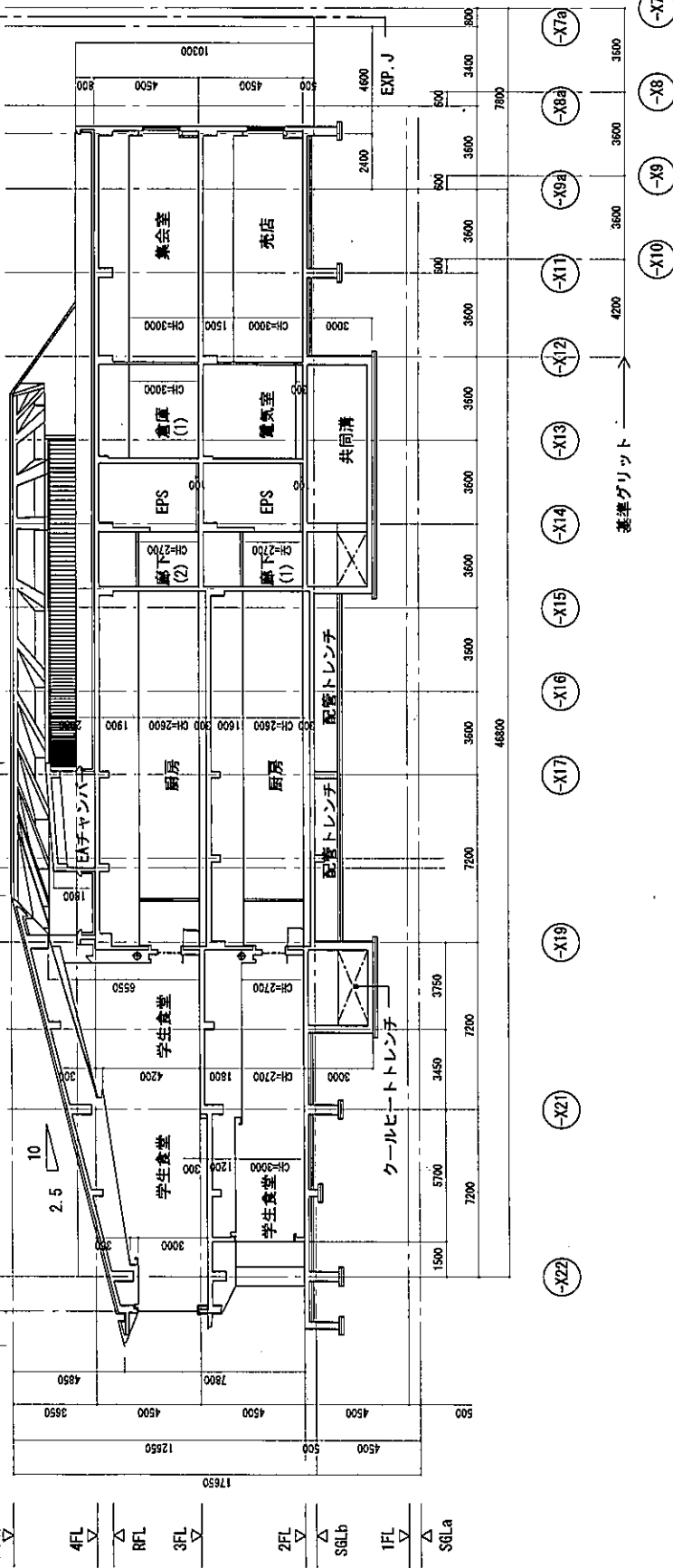
3階平面図

キープラン



EXP. J
学生ホール棟メディアセンター

最高高さ=SdL.a+17650
(最高高さ=SdL.b+13150)



改修内容

床：
(A) タイル撤去の上 均しモルタル+塩ビシート
(B) 嵩上げコンクリートの上 均しモルタル+塩ビシート
(C) 既存のまま

排水設備

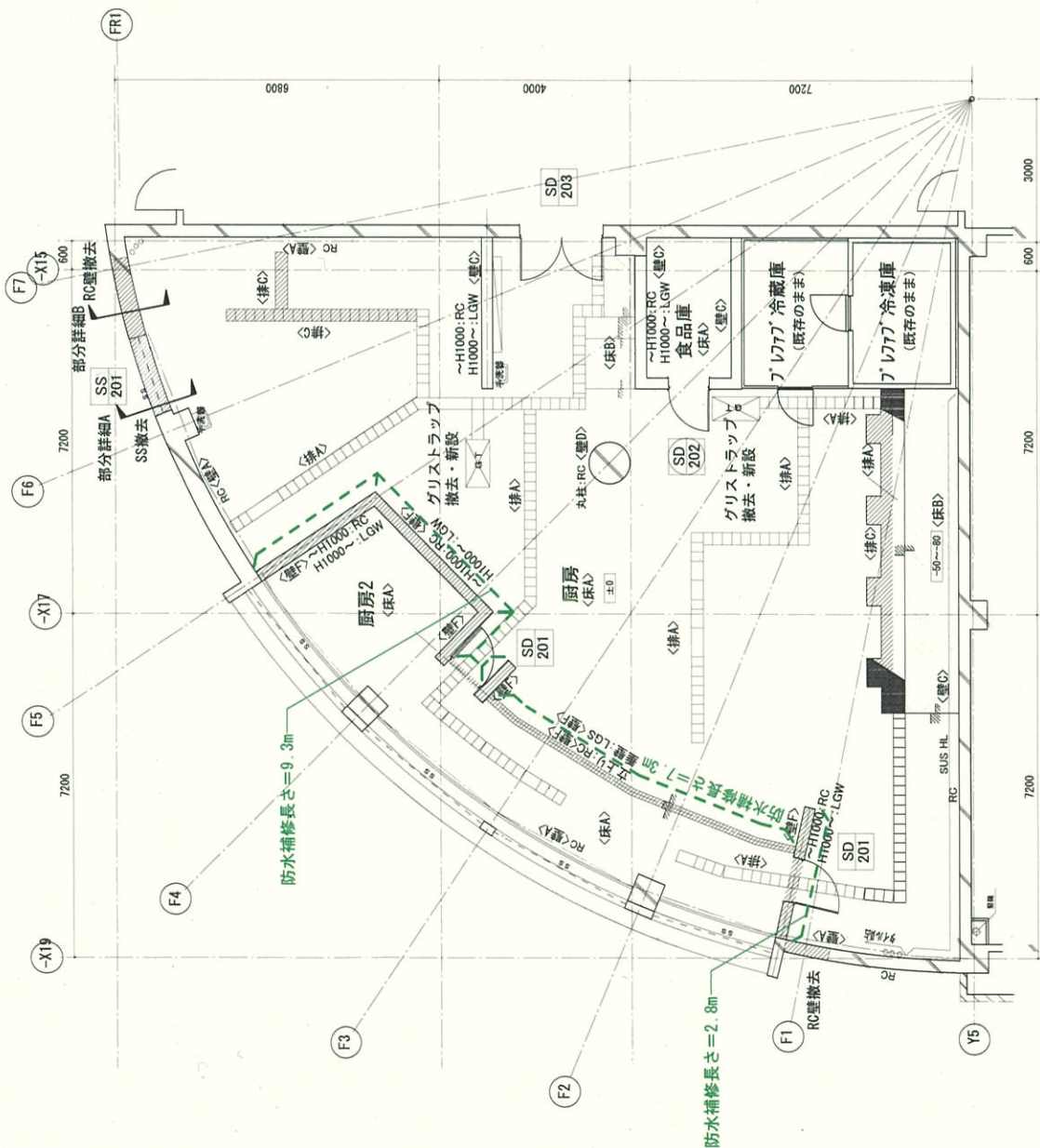
(A) 改修：グレーチング 蓋・枠共に撤去の上、SUSグレーチング 蓋新設、排水ピット：既存のまま
(B) 新設：嵩上げコンクリートはつりの上 SUSグレーチング 蓋新設、排水ピット新設
(C) 撤去：グレーチング 蓋・枠共に撤去の上、嵩上げコンクリート打設

壁

(A) タイル補修 (下地残置)
(B) 間仕切り新設
(C) 現状のまま
(D) 下地調整の上塗装
(E) 仕上げ撤去 (SUS、タイル)
(F) 間仕切り撤去

共通事項

* 配管やり換えに伴う床はつり範囲は設備図による



--- 防水補修長さ 合計=19.4m
(既存RC壁撤去後モルタル補修t=50の上、水系硬質ウレタン塗床材塗布600)
(長尺塩ビシート施工前に接着性試験費を見込むこと)

凡例	
	壁・グレーチング 撤去範囲を示す
	壁・グレーチング 新設範囲を示す
	嵩上げコンクリートの範囲を示す
	新設建具
	改修建具
	撤去建具

改修内容

床： (A) タイル撤去の上 均しモルタル+塩ビシート
(B) 嵩上げコンクリートの上 均しモルタル+塩ビシート
(C) 既存のまま

排水設備：

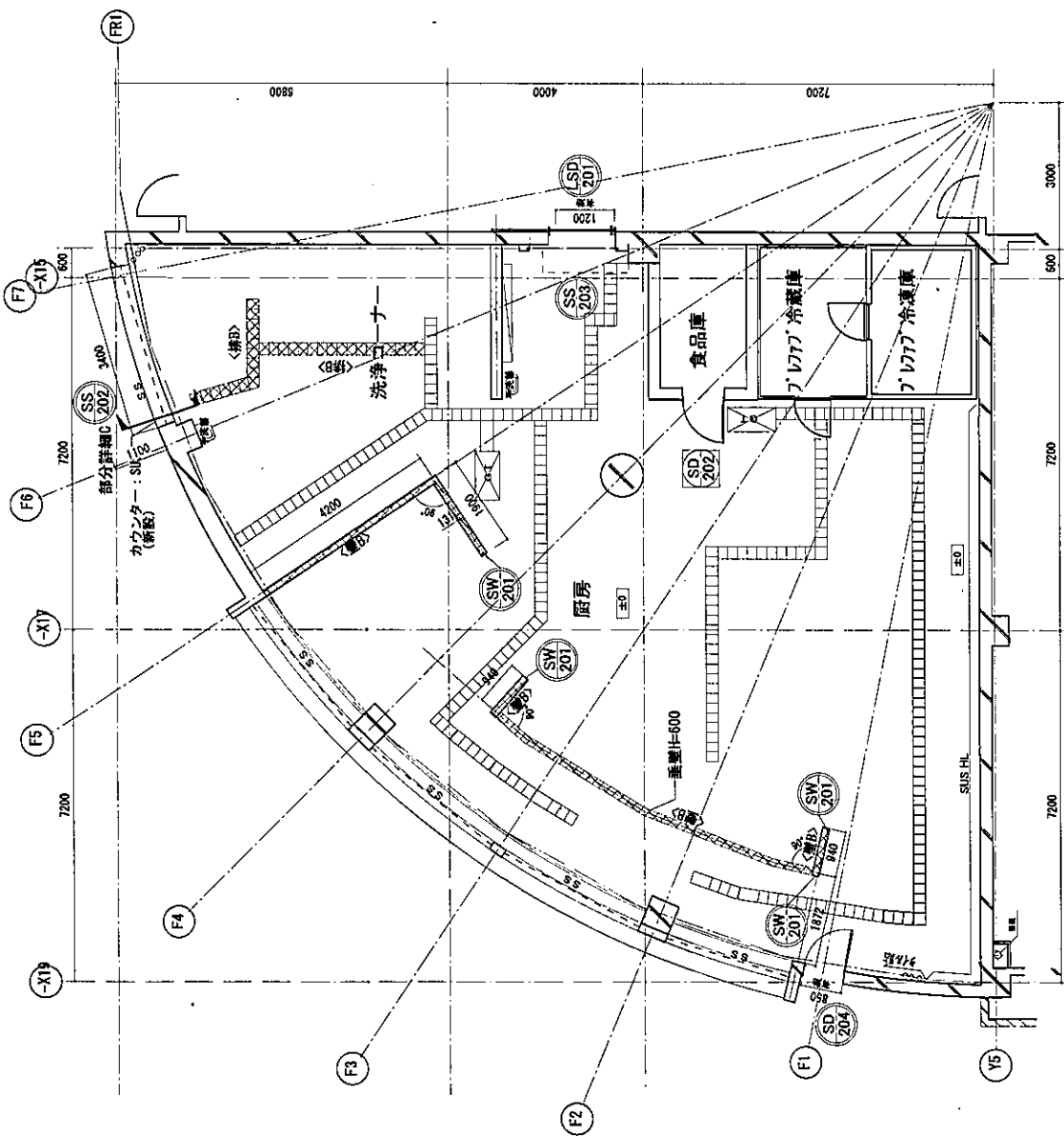
(A) 改修：グレーチング 蓋・枠共に撤去の上、SUSグレーチングを新設、排水ピット：既存のまま
(B) 新設：嵩上げコンクリートはつりの上 SUSグレーチングを新設、排水ピット新設
(C) 撤去：グレーチング 蓋・枠共に撤去の上、嵩上げコンクリート打設

壁：

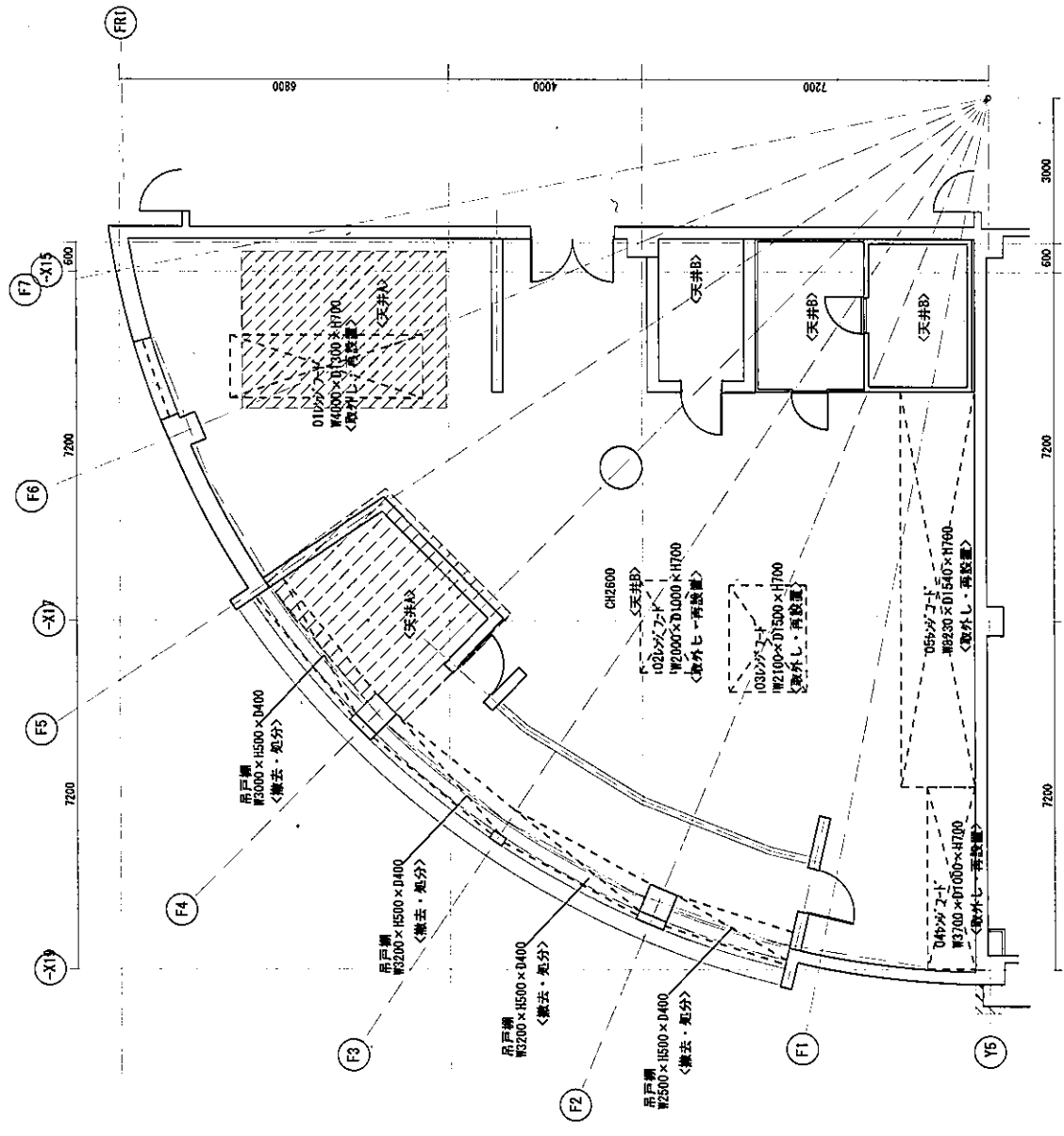
(A) タイル補修（下地残置）
(B) 間仕切り新設
(C) 現状のまま
(D) 下地調整の上塗装
(E) 仕上げ撤去（SUS、タイル）
(F) 間仕切り撤去

共通事項

* 配置やり換えに伴う床はつり範囲は設備図による



R例		
	壁・グレーチング 撤去範囲を示す	
	壁・グレーチング 新設範囲を示す	
	嵩上げコンクリートの範囲を示す	
※	新設機具	
※	改修機具	
※	撤去機具	

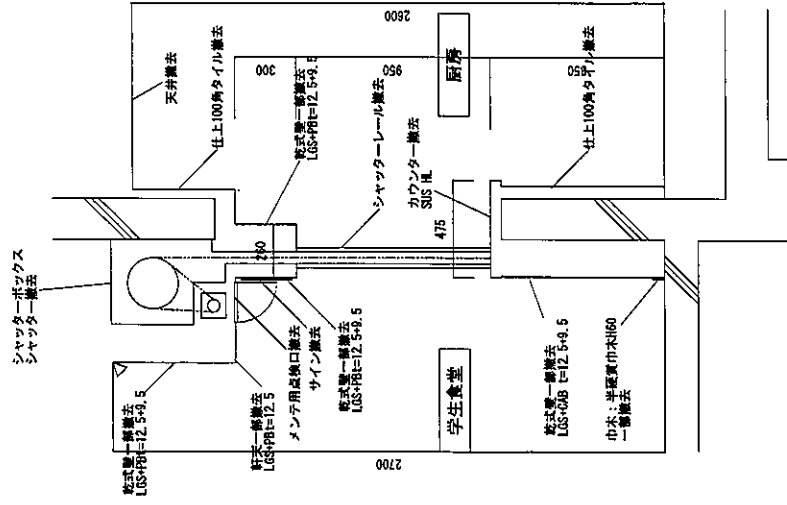


改修内容
 天井：
 (A) 下地一部差しの上ケ付加板+塗装
 (B) 現状のまま

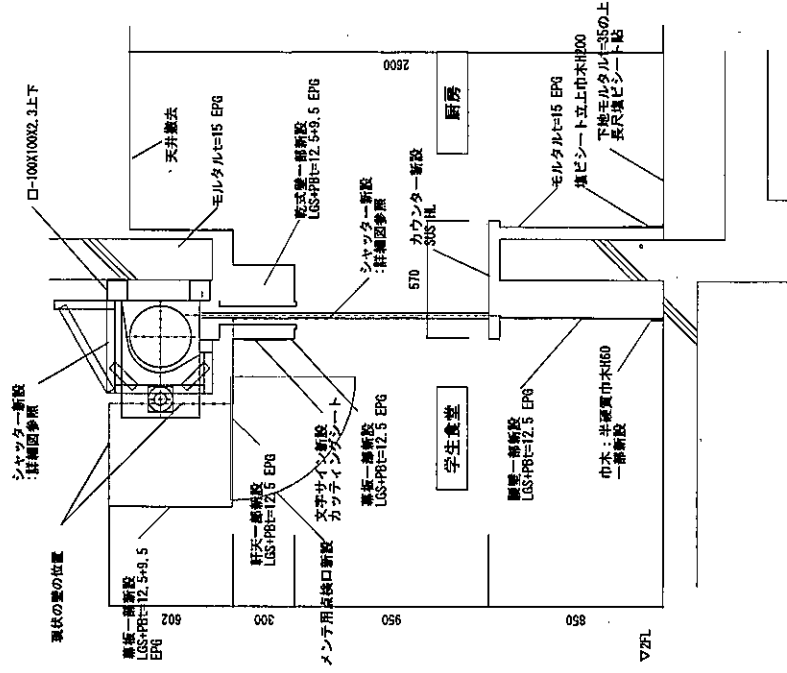
2F レンジフード			
01	4000×D1300×H700	既設	取外し・清掃の上再設置
02	2000×D1000×H700	既設	取外し・清掃の上再設置
03	2100×D1500×H700	既設	取外し・清掃の上再設置
04	3700×D1000×H700	既設	取外し・清掃の上再設置
05	2300×D1540×H700	既設	取外し・清掃の上再設置
06	1950×D860×H700	新設	

凡例	レンジフード
	天井点検口

2-3F 厨房	2-3F 厨房 排水ピット	1/10	1/5、1/10
<p><現状・撤去図></p> <p>▼ カッター入れ</p>	<p><改修後></p>	<p><現状・撤去図></p> <p>* は別図による。</p>	<p><改修後></p>
<p>天井点検口</p> <p>1/2、1/20</p> <p>仕様 アルミ枠表面仕上 ・陽極酸化皮膜 ● A-BE ● 印を適用する。</p>			
<p>公立大学法人岩手県立大学 学生ホール増設改修工事</p> <p>3-1/2.5.10.40</p> <p>公立大学法人 岩手県立大学</p> <p>部分詳細図(1)</p> <p>A-13</p>			



部分詳細図A



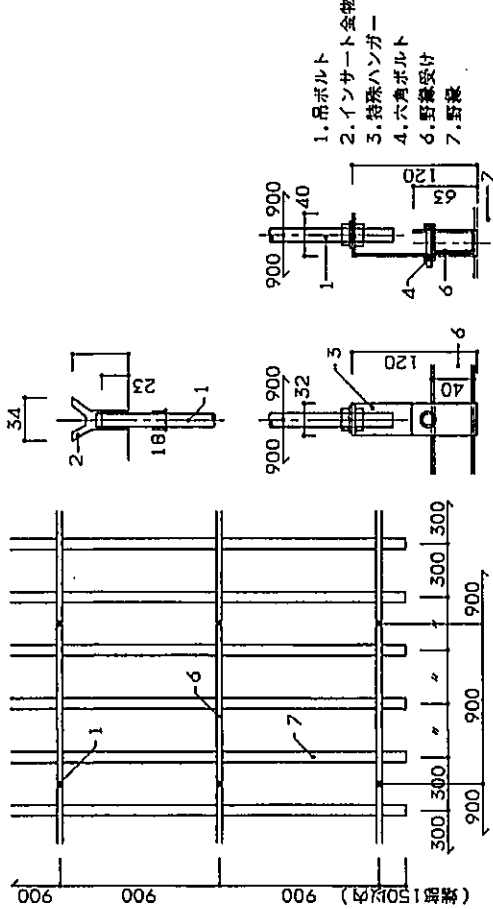
部分詳細図C

▽カウンター入れ

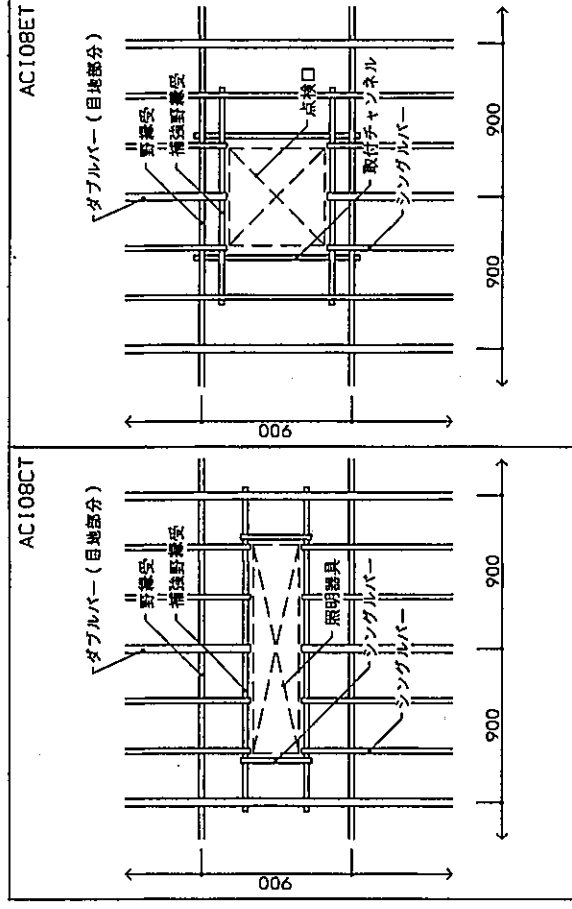
	吊りボルト 12φ (屋外) 9φ (室内)	封盤 (バー) 受 亜鉛鉄板厚 1.6 (屋外) 1.2 (室内)	ダブルバー (W) 亜鉛鉄板厚 0.8 (屋外) 0.5 (室内)	シングルバー (S) 亜鉛鉄板厚 0.8 (屋外) 0.5 (室内)	仕 上 材
増張り用			1方向のみ φ1,800	φ 300	岩綿吸音板
目地割 900x900			X, Y方向共 φ900	φ 300	石膏ボード、石綿板、フレキシブル板
目地割 900x1,800	φ 900 以下	φ 900 以下	X方向φ1,800 Y方向φ900	φ 300	珪酸カルシウム板、目地鉄板
直張り用			1方向のみ φ300	φ 300	岩綿吸音板
吹付下地			X, Y方向共目地当り	φ 300 φ 225*	ジョイントボード張

(*むる石吹付の場合を示す)

- (注)
1. ピッチ法は全て以内とする。
 2. ダクト等で吊ボルトφ900以上とする場合は、ダクト下に吊りボルト受けの補強材を入れること。
 3. 天井面は水平加圧度0.6Gに耐える様に補強及び天井面の補強を施すこと。
 4. 外装天井の場合 耐風圧強度は±200kg/m²とし、プレーズ、圧縮材にて補強すること。
 5. 全鋼製天井材の締結には、ステンレス製タッパビス (φ200以内) を使用する。
 6. 異種金属と接する部分には、ジंकロメーティング止めペイント塗布すること。

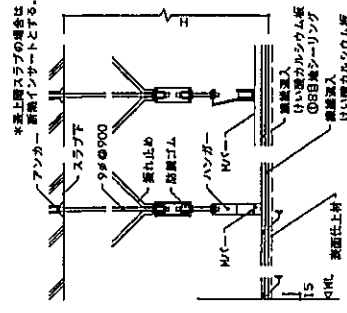


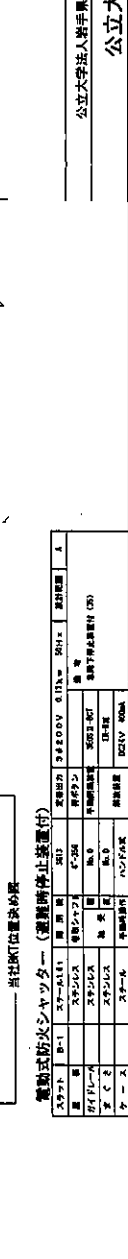
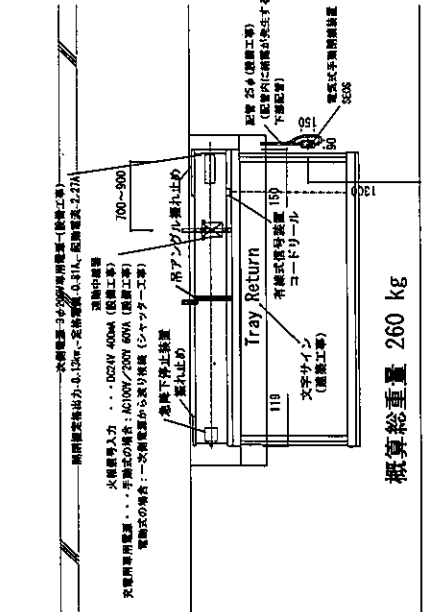
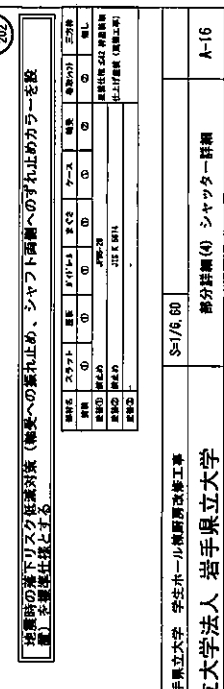
*最上階スラブ下に使用するインサートは断熱インサートとする。

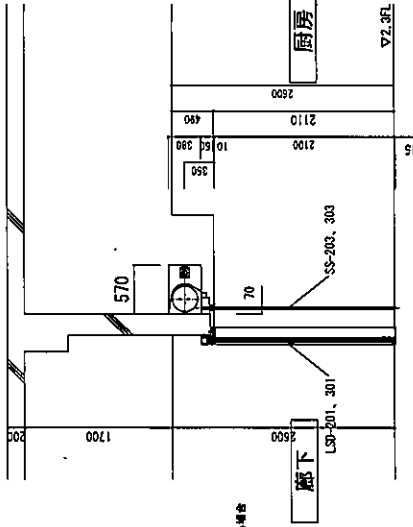


防振吊り天井

1/30







156

廊下

4000

3000

1700

550

65

1350

65

130-D101、301

林聖新設洗面

009

550

300

100

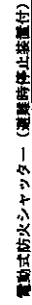
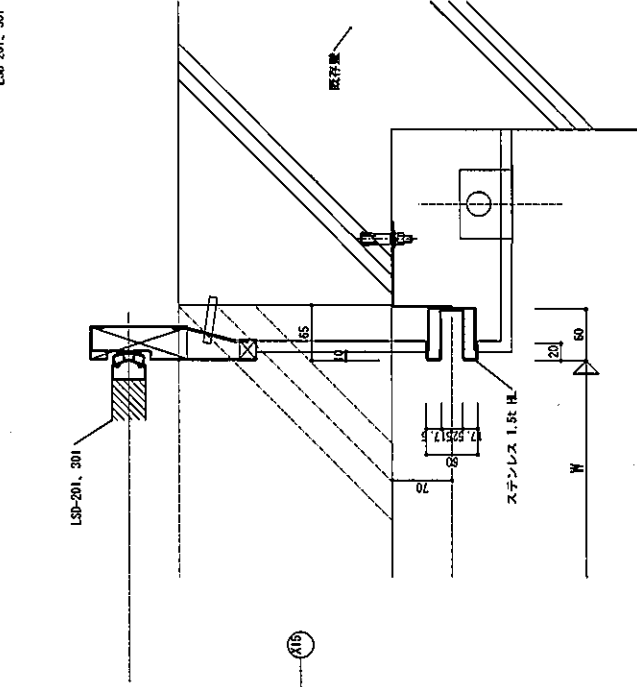
20

550

天井改め口
(建築工事)

厨房

155

[illegible]

地産時の落下リスク低減対策（輸受への振れ止め、シャフト面割へのずれ止めカラーを設